



秋田雨雀  
土方与志 記念

青年劇場 第134回公演

# 三たび MITABI NO KAIKYO の海峡

日韓の近代史に焦点をあてた  
珠玉の名作が待望の舞台化！  
「星をかすめる風」につづく、  
シライケイタ脚本・演出の第2弾。

2025年

5月24日(土)～6月1日(日)

紀伊國屋サザンシアター

TAKASHIMAYA

帝木蓬生『三たびの海峡』(新潮文庫刊) 原作  
シライケイタ 脚本・演出

# なぜ憎しみの連鎖は終わらないのか 私たちは海峡を越えられるだろうか

河時根（ハー・シグン）は、

四十数年の時を経て三度目の海峡を渡る。

フェリーの甲板の上で暗い海を見つめながら、

彼は思い出していた。

連行された炭坑での地獄のような日々を。

そのすべてを指揮し、

同胞たちを死に追いやった労務係、

山本三次のことを。

いまふたたび、彼は日本の土を踏む。

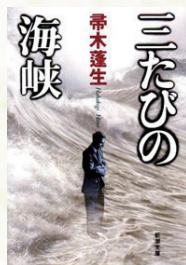
残された記憶、人生最後の決意。

そして彼が未来に託したものは――。



## 帯木蓬生氏 プロフィール

1947(昭和22)年福岡県生れ。精神科医・作家。東京大学仏文科卒業後、九州大学医学部に学ぶ。『三たびの海峡』で吉川英治文学新人賞を受賞、『閉鎖病棟』で山本周五郎賞を受賞するなど活躍する傍ら、医師として三十五年以上、ギャンブル症の治療に取り組んできた。著書に、『逃亡』『水神』『蠅の帝国』『蛍の航跡』『守教』『沙林』『花散る里の病棟』『ギャンブル脳』など多数。



## シライケイタ氏 プロフィール

劇団温泉ドラゴン代表。劇作家・演出家・俳優。桐朋学園芸術短期大学演劇専攻在学中、蜷川幸雄演出「ロミオとジュリエット」のパリス役で俳優デビュー。2010年温泉ドラゴン旗揚げ公演に処女作「escape」を提供、その後、座付き作家・演出家として活動。2013年文化庁・日本演出者協会主催による「若手演出家コンクール2013」優秀賞及び観客賞、2017年第25回読売演劇大賞において杉村春子賞を受賞。現在、日本演出者協会副理事長、日韓演劇交流センター会長、座・高円寺芸術監督、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

青年劇場とは2020年の『星をかすめる風』初演で初タッグ(脚本・演出)。瓜生正美追悼公演『殺意』(2022年)演出。『星をかすめる風』再演(2023年)。

**2025年 5月24日(土)～6月1日(日)**  
**紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA**

**チケット4月7日発売!**

**青年劇場チケットサービス 03(3352)7200**  
<http://www.seinengekijo.co.jp/>



秋田雨雀・土方与志記念

**青年劇場**

〒160-0022  
東京都新宿区新宿2-9-20  
問川ビル4F  
TEL.03(3352)6922  
FAX.03(3352)9418

